



研究者名※	天野 晴子 AMANO Haruko	学位※	博士(文学)
所属※	家政学部 家政経済学科	職名※	教授
連絡先	amano@fc.jwu.ac.jp		
URL			
researchmap※	https://researchmap.jp/read0183074		
研究分野※	ジェンダー		
研究キーワード※	経済・労働、性別役割、社会政策、教育		
共同研究・競争的資金等の研究課題	<ul style="list-style-type: none"> ・生活時間調査による新家事労働の実態把握とアンパイド・ワークの社会的評価方法の開発(科学研究費・基盤C・研究代表者、2004～2007年) ・家政学的知見に基づいた生活支援教材の開発—ブータンの協働を事例として(科学研究費・基盤B・研究分担者、2018～2021年) ・近代化前後の日本におけるリテラシーの基盤的再編成に関する研究(科学研究費・基盤B・研究分担者、2015～2019年) ・省エネ行動に関する研究 (産学共同:(一社)日本ガス協会との共同2015～2019年、東京ガス株式会社との共同2021年～) 等 		
社会貢献・産学官連携活動等	<ul style="list-style-type: none"> ・経済産業省 産業構造審議会臨時委員(2013年～) ・資源エネルギー庁 総合資源エネルギー調査会臨時委員(2013年～) ・内閣府 略的イノベーション創造プログラム「国家レジリエンス(防災・減災)の強化」イノベーション戦略コーディネーター(2018年～) ・財務省 関東財務局財務行政モニター2016～2018年、同局コラボ講座実施(2016年～) 等 		
受賞歴	<ul style="list-style-type: none"> ・日本教育史学会石川謙日本教育史研究奨励賞(1995年) ・生活経済学会奨励賞(1998年) 		

研究領域	ジェンダー (経済・労働、性別役割、社会政策、教育)	(SDGs)	
研究テーマ※	生活実態に関するジェンダー視角からの分析		
概要※ (概ね1000字以内) (写真・グラフ等自由)	<p>【研究の背景・目的・内容】 お金と時間は、生活の実態を示す尺度の一つです。生活諸分野における男女の共同参画の遅れやさまざまな格差の基礎には、男女それぞれの収入や資産の格差があります。また、ワークライフバランスにおけるパイドワークとアンパイドワークのアンバランスな構造には、ジェンダー問題が深く関わっています。 そこで、家計や生活時間に関わるデータを用いて、生活の実態をジェンダー視角から明らかにするとともに、問題の原因・背景や構造、及びそこからもたらされる結果や影響を検討し、解決の方向性を考えます。</p> <p>【応用例、研究の展望】 世帯類型で最も多い一人暮らし世帯では女性と男性の収入と支出の違いを、二人以上の世帯では男女の働き方の違いが、世帯の収入や支出にどのように反映されるのか、さらに高齢世帯を含め、生涯を通して性別格差がどのような経済的問題をもたらすのかを考えます。生活時間分析では、国際的な課題にもなっているアンパイドワークの評価について、従来の金銭にとどまらない社会的な評価手法の開発を提起します。</p> <p>【研究方法の特色】 お金や時間のデータを用いて分析する際に、金額や時間の増減だけでなく、人間らしい文化的な生活のあり方や生活の質の向上を視野に入れること、個人・家族と地域・社会との関係や持続可能性を重視すること、生活に価値を置いて問題の構造を見直すという規範科学の側面を含みます。</p>		
研究関連特許・論文等	<ul style="list-style-type: none"> ・「生活を家計でとらえる」「人生100年字だいの生活設計」「持続可能社会の生活設計に向けて」(『持続可能な社会をつくる生活経営学』(一社)日本家政学会生活経営学部会編、朝倉書店) ・「家計・支出の構造に見るジェンダー」「生活時間とアンパイドワーク」『ジェンダーで学ぶ生活経済論』(伊藤純・斎藤悦子編、ミネルヴァ書房) 等 		